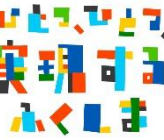


小名浜港のコンテナ

福島県



小名浜港コンテナ航路



● 韓国・中国航路（天津新港/青島直行サービス）

毎週月曜日 （週1便）

輸出	釜山	天津新港	青島
小名浜港から	8日～	12日～	14日～
輸入	釜山	青島	天津新港
小名浜港まで	5日～	7日～	9日～

船社：南星海運ジャパン・高麗海運ジャパン（共同配船）

● 国際フィーダー航路

毎週金曜日 （週2便）

航路：京浜 ～ 小名浜 ～ 京浜

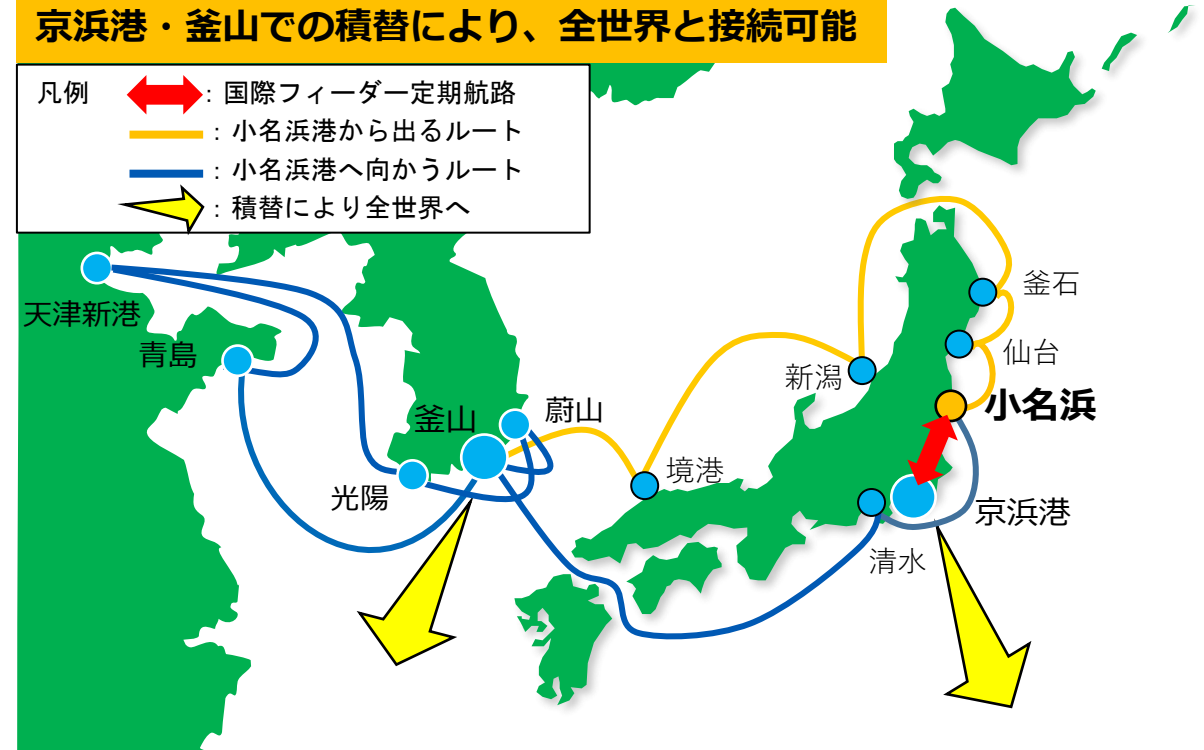
船社：鈴与海運（令和6年2月～）／CMA CGM・ONE・COSCO
井本商運（令和6年6月～）／OOCL・エバーグリーン

● 内航輸送サービス

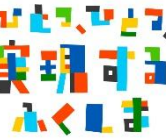
随時 国内港～国内港への輸送も可能

京浜港・釜山での積替により、全世界と接続可能

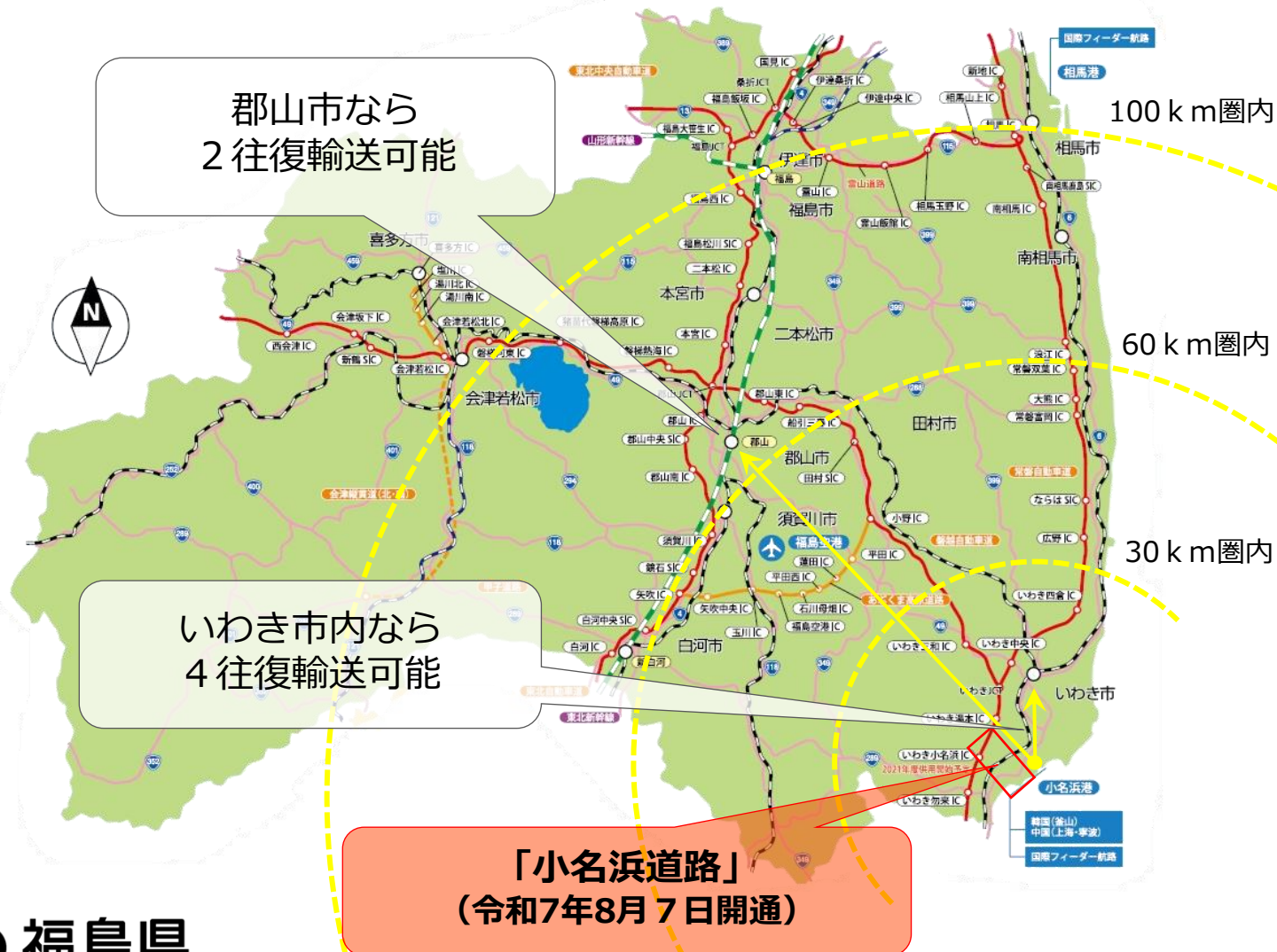
凡例
：国際フィーダー定期航路
：小名浜港から出るルート
：小名浜港へ向かうルート
：積替により全世界へ



小名浜港のメリット① 迅速な貨物運搬



港湾背後の充実した道路・交通ネットワーク等により迅速な貨物運搬が可能



コンテナヤード内の渋滞が少ない

輸出が少ないためコンテナ不足がない

コンテナヤードオペレーターが通関・
配送・船舶代理店を兼ねているため
ワンストップサービスが可能

コンテナドレージの時間的柔軟性がある

スムーズな貨物運搬が可能

荷主の皆様へ ご存知ですか？
トラックドライバーの
労働時間のルールを

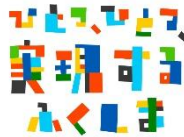
拘束時間 (始業から終業までの時間)	・1日 原則 13 時間以内 最大 16 時間以内 (15 時間超えは 1 週間 2 回以内) ・1 か月 293 時間以内
休憩期間 (勤務と次の勤務の間の自由な時間)	・継続 8 時間以上
運転時間	・2 日平均で、1 日あたり 9 時間以内 ・2 週間平均で、1 週間あたり 44 時間以内
連続運転時間	・4 時間以内

**過労運転への荷主の関与が判明すると
荷主名が公表されます**

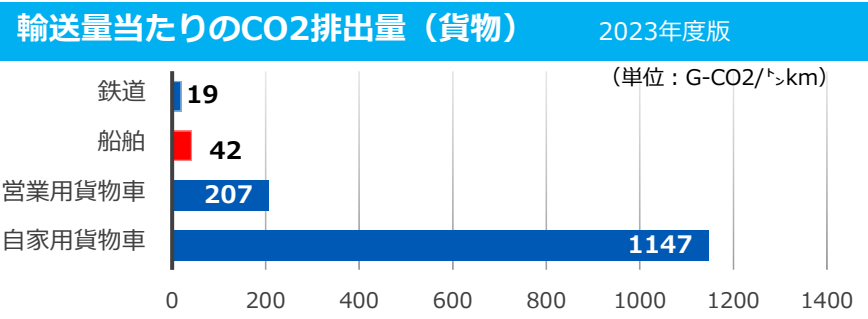
[illegible]

短距離輸送となるため影響が軽微
(法令遵守、車両の安定確保、物流コストの削減等に繋がる)

小名浜港のメリット③ CO2排出量と物流コストの削減



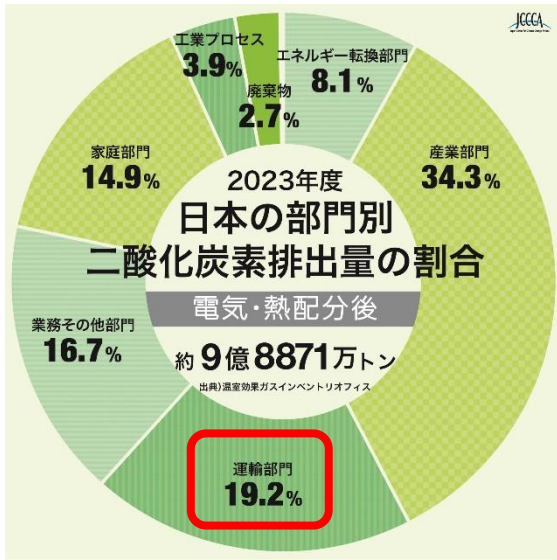
国内輸送距離短縮による物流コストと時間の削減、さらにCO2排出量も削減



主要都市から小名浜港までの距離・所要時間(横浜港との比較)

県	市	小名浜港まで		横浜港まで	
		距離	所要時間	距離	所要時間
福島県	いわき市	約17km	約30分	約240km	約3時間10分
	福島市	約133km	約1時間50分	約326km	約4時間10分
	郡山市	約92km	約1時間30分	約276km	約3時間40分
	本宮市	約98km	約1時間30分	約291km	約3時間40分
	会津若松市	約141km	約1時間50分	約335km	約4時間10分
	白河市	約102km	約1時間50分	約240km	約3時間10分
茨城県	日立市	約55km	約50分	約178km	約2時間20分
	北茨城市	約23km	約40分	約202km	約2時間40分
栃木県	那須塩原市	約131km	約2時間	約217km	約3時間

※距離・所要時間は「NAVITIME」を利用して算出
※距離・所要時間は高速道路を利用した場合のもので、各市役所を基点として算出
※走行ルートは、実際のコンテナ貨物の走行に係る制約条件について考慮していません

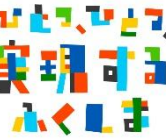


トラック輸送より
船舶輸送の方が
CO2排出量が少ない

地元の港を使うことで
陸送コスト・CO2排出量の
削減に繋がる



小名浜港のメリット④ 充実した助成金



小名浜港のコンテナ航路を利用して貨物の輸出入を行った荷主に対して、コンテナ輸送に係る経費の一部を助成

提出書類が少なく、手続きが簡単です！

制度内容

助成区分	対象	助成額	上限
航路開設 トライアル荷主 (新)	小名浜港の利用実績がない荷主	一律 80,000円 (工場等県内立地： 20,000円 を加算)	最大100,000円 ※申請は1回まで
新規利用荷主	新規利用荷主の助成金の交付を受けたことがない荷主	輸入： 10,000円 /TEU 輸出： 20,000円 /TEU	50TEU (最大1,000,000円)
新規利用大口荷主	新規利用荷主のうち200TEU以上利用した荷主	上記の助成額に 一律 1,000,000円 を加算	
新規利用市外陸送荷主	新規利用荷主のうち市外に所在する工場等と小名浜港間を輸送した荷主	輸入： 2,000円 /TEU 輸出： 4,000円 /TEU	50TEU (最大200,000円)
継続利用荷主	新規利用荷主の助成金の交付を受けたことがある荷主 (30TEU以上利用した場合)	輸入： 5,000円 /TEU 輸出： 10,000円 /TEU	50TEU (最大500,000円)
利用再開荷主 (新)	助成金の交付を受けたことがあるが、今年度を除く 過去5カ年度小名浜港の利用実績がない荷主	輸入： 10,000円 /TEU 輸出： 20,000円 /TEU	50TEU (最大1,000,000円)

注意事項

- 助成対象期間は令和8年4月1日～令和9年3月31日です。
- 予算の範囲内で実施するため、期間中でも予算に達した時点で終了します（先着順）。
- 制度の詳細はHPをご覧ください。**

小名浜港利用促進協議会

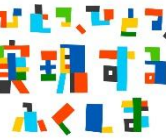
検索



京浜港との間を陸上トラック輸送し輸出入されている貨物を、横浜港経由のフィーダー利用転換する場合、さらに助成制度があります。当助成金と併用可です（**5,000円/TEU・上限500,000円**）。

問い合わせ：横浜川崎国際港湾㈱ Email：sales@ykip.co.jp

小名浜港のメリット⑤ 代替港としての利用（BCP対策）



バックアップ港として利用することで、さまざまなトラブルによる損失を低減

特定の港に貨物を集中させると、
有事の際に物流混乱、生産の低下・
停止等に繋がるリスク

災害

（地震・風水雪害等）

事故

（火災・テロ攻撃等）

感染症流行

大規模イベント

小名浜港の代替港としての優位性

交通アクセス

高速道路・幹線道路等、交通網が充実している。

温暖な気候

東北地方だが、冬でも暖かく降雪がほとんどない。

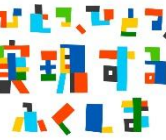
混雑がない

周辺道路の渋滞がほとんどなく、コンテナヤード内での待ち時間も少ない。

助成金

1TEUの利用から助成金の対象となるため、トライアルでも利用しやすい。

小名浜港コンテナターミナル



コンテナヤード機能強化事業を実施（平成29年度～令和6年度）



施設概要（令和7年4月現在）

総面積 60,702㎡
バース 延長370m、水深10m
ガントリークレーン：2基
リーファ Consent：20基
トラックスケール：1基
ストラドルキャリア：4台
トップリフター：2台

機能強化概要

- エリア拡張（舗装改良工事）
- 3段積みストラドルキャリア導入※
- ガントリークレーン増設
- レール延長

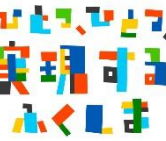
＜コンテナクレーン強化＞
ガントリークレーン1基⇒**2基**
2隻同時着岸が可能に（令和6年3月25日供用開始）



**工事完了後は
蔵置能力が約2倍に！**

※(株)いわき小名浜コンテナサービス導入

小名浜港コンテナターミナル（周辺施設）



■ 小名浜港物流センター
（面積：1号棟3124.8㎡
2号棟5472.0㎡）



■ 大剣コンテナフレートステーション
（面積：1590.0㎡）

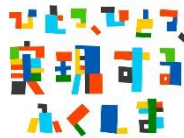


大剣ふ頭



■ 藤原コンテナフレートステーション
（面積：4168.2㎡）

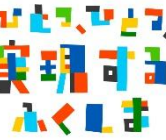
小名浜道路の整備



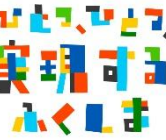
常磐自動車道と小名浜港を結ぶ無料で通行できる自動車専用道路を整備
(令和7年8月7日開通)



小名浜道路と大剣ふ頭CYの位置関係



お問い合わせ先



見積依頼 コンテナ利用全般

(株) いわき小名浜コンテナサービス

〒971-8183 福島県いわき市泉町下川字大剣196
TEL : 0246-75-0210 FAX : 0246-75-0280

助成制度

福島県小名浜港利用促進協議会

(事務局：いわき市産業振興部産業みらい課内)
〒970-8686 福島県いわき市平字梅本21
TEL : 0246-22-1162 FAX : 0246-22-7582

小名浜港全般

福島県小名浜港湾建設事務所

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町68
TEL : 0246-53-7124 FAX : 0246-53-7130
mail : onahama.kouwan@pref.fukushima.lg.jp



ぜひ小名浜港をご利用ください！

トライアル利用、港の見学なども大歓迎です。
まずはお気軽にお問い合わせください。